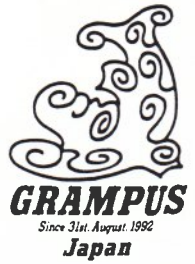




Nagoya GRAMPUS



名古屋 グランパス ワイズメンズ クラブ
 NAGOYA YMCA5-2 KAMIMAEZU2 NAKAKU NAGOYA 460 JAPAN

- 国際会長標語 Enthusiasm Makes The Difference 「やる気が鍵だ」
- アジア会長標語 Build a Better World For The Next Millennium 「より良い世界を次の世代に」
- 西日本区理事標語 A New Creation For The 21st Century 「21世紀に向かって新しい創造を」
- 中部部長標語 「地域と共に、広げようY・Yの輪」
- クラブ会長標語 「ともに情熱を持って 自分を磨こう」

1999年 10月号

<今月の聖句>

「イエスは町や村を残らず回って、会堂で教え、御国の福音を宣べ伝え、ありとあらゆる病気や患いを癒された。また、群衆が飼いのいない羊のように弱り果て、打ちひしがれているのを見て、深く憐れまれた」

マタイによる福音書第9章：35節-36節

例会の欠席者は必ずドライバー又は亀谷主事に連絡すること

1999年10月例会ご案内

◎ 第一例会

と き : 10月12日(火)
 ● 19:00~21:00 時間厳守
 ところ : 名古屋YMCA
 ドライバー : 田中徹夫君

例会内容

「終末医療について」

講師 : 愛知国際病院ホスピス部長

細川 順氏

日進市の米野木にキリスト教主義の「愛知国際病院」があるのをご存じですか。そこは病院だけでなく、アジア保険研修所、老人医療の愛泉園、シルバーホーム「まきば」など医療村になっています。この度病院にホスピス病棟が新設されました。そして新進気鋭の細川順ドクターがターミナルケアを始められました。そこで今回ホスピスについてのお話をわかりやすくお聞きしようと計画しました。

ぜひたくさんの方の友人知人をお誘い下さい。細川氏は西宮出身で、阪神淡路大震災の経験もあり、そのことも含めてお話いただく予定です。

◎ 第二例会

と き : 10月26日(火)
 ● 19:00~21:00 時間厳守
 ● フィットネス：運動靴、運動着
 ところ : 名古屋YMCA

◎ 根の上まつり

と き : 10月10日(日)~11日(月)
 ところ : 根の上キャンプ場

◎ YMCAバザー

と き : 10月31日(日)
 ところ : 名古屋YMCA会館

9月例会	例 会 出 席 状 況				B Fポイント		クラブファンド(9月)	
	在 席 者	24名	第 1 例 会	18名	当 月・切 手	-	ニコBOXノート	
	例会出席者	19名	第 2 例 会	11名	当 月・現 金	-	感 謝 ファ ン ド	
	当月出席率	79%	部 会 他	6名	累 計		累 計	

“TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT”

=強い義務感を持つ。義務はすべての権利を伴う=

9月第一例会報告

緊張とやすらぎの中で……

ワイズに入会して初めてドライバーを経験したという、お叱りを受けるかもしれませんが、少々緊張しました。卓話だけとっていたら特別ゲストに次期国際会長の Dale Fortheringham 氏の訪問とあって、いつもにない何か緊張がした雰囲気が出ていました。

服部君の来賓紹介に始まり佐藤君の通訳でお話された Dale Fortheringham 氏は、小柄な方ですが笑顔のたえないとても優しい紳士の印象を受けました。私には想像もできない国際会長という大役を受けられたわけですが、二つの方針を言われました。

一つは、クラブの若返り。二つ目にプログラムの充実と楽しい運営ということです。先日開催された中部部会でも同じような悩みをもち、話し合っていたことを思いだし、世界共通の課題かと痛切に感じました。ご活躍をお祈りいたします。

さて、話が変わりますが、今回の卓話はいかがでしたでしょうか。不思議と出席者の顔ぶれを見ますと女性が多く感じられたのは気のせいでしょうか。講師の紹介は先月のブリテンに記載させていただきましたが、彼の店の名前を間違えておりました「尾張旭屋」ではなく「尾張屋」でした。失礼。彼は南山YMCAのリーダーということもあって知っている方も多く、和気藹々とお話はずんでいました。

実は私自身何を思ったか、男性のオシャレという講座に参加しました。大変素敵なお女性講師で照れながら参加してはいたのですが、その時勧められた本に彼の名前が載っていたのに驚き、連絡をとるうちに俗に言う嵌ってしまったという感じです。

ドライバーの私がモデルになり、胸に色々なカラーをあてていき、顔の色の変化を見ますが、違いをうまく見分けられる人と、全く分からなく首を傾げる人がいて、会場には笑いが飛び交いました。

自分のカラーを身に付けるようになってから、「オシャレだね」と言われると、おだてに弱い自分はすぐ調子にのってしまうのですが、今は流行とかブランド物に関係なく自分のカラーを選べるというのも楽な感じがします。

講師も言っていましたが、人のイメージというものは、第一印象が大きく占めているのは確かだと思います。

私たちはいろんな人との出会いの中で生活しているわけですが、その中にはカラーのプロもいるかもしれません。個性だと言ってしまうまでもそれまでかも知れませんが、「より美しく」「よりカッコよく」という言葉を拒否するのではなく、自分を知らずという視点に立つことも大切な

ような気がします。

突然ですが、以前早稲田の学生がモラルに欠けている様子をテレビで見ましたが、確かに早稲田に限らず今の大学生の服装から茶髪を見ると、何か勘違いしているような気がしてなりません。若いから許されるのかも知れませんが、もっと自分を大切にしたいものです。

「おやじ」のせりふかな。

実りの秋を迎え、オシャレの季節。カラーには全く無縁という顔をしていたメンバーもいたようですが、チャレンジすることも大切かも知れませんよ。今までとは違った自分を発見して、何か変化が起こったりして。

まとまりのない文章になりました。失礼

ドライバー里 昌信

第18回アジア大会の報告

9月10～12日、北海道十勝にて開催された第18回アジア大会に行き参りました。我がグランプスよりは、馬場会長・阿部君・池野君・服部君・坂野君と私の6名に今回は、プラザの大島君と南山の小林君に同行していただきました。

名古屋空港より千歳空港へ、そこから電車にて帯広へ約6時間、道中目的地まで近づくにワイズの方々が多く集まってこられました。珍しくオープニングより出席しましたが、何かわからんうちに終わってしまいました。その後のキーノートスピーチの講師、高木善之先生の内容が大変すごかったです。約3時間(延長されて)の間、日本の深刻な環境問題が経済成長のための浪費が自然を破壊し、また、海外からの情報が搾取されていることを切実に訴えられ、年間300回の講演と自ら一日一食1000キロカロリーを実践されておられる。あまりの迫力にその後のウェルカムパーティーの料理も進まないまま、ホテルにてのミーティング後寝ました。

翌日は服部君の北海道での顔の広さには、朝のホテルロビーから深夜の北海道料理まで大変感心させられました。最後の日はベッドの中にて早朝礼拝を迎え、今度は馬場会長、阿部君の案内にて十勝平野の視察に参りました。昼の牧場でのジンギスカンや服部君がホールインワンをされましたパークゴルフなど、やっと北海道にやって来た実感がわく一日でした。

久しぶりの珍道中でしたが、プラザの大島君と南山の小林君にすべて同行していただき、ありがとうございます。また、ホストをしていただいた十勝ワイズの方々には、このような大きな大会を北海道らしい雄大な進行にて無事努められましたこと大変感謝しております。ありがとうございます。我々の行った日本区大会の苦学と喜びを久しぶりに思い出す大会でした。

ただ突然の御不幸にて参加することのできなかった吉田一誠君と同行できなかったのが残念でした。

坂口 功祐

‘Youngster’

吉田一誠君英国通信

大変ご無沙汰しております。7月、8月思わぬ状況が重なり正直なところ落ち着かない毎日でした。8月の母の葬儀に対しましては皆様方の多くの方に参列いただいた上に、お手伝いまでして頂き誠にありがとうございました。遅ればせながらこの紙面をお借りして改めて御礼申し上げます。

9月16日に英国にただ二つしかないワイズクラブのうちの一つである‘KINGSWOOD’クラブの例会に参加しました。以前からこのクラブのブリテン ‘Youngster’をメールで送ってもらっておりましたが日にちが中々合わずやっと実現しました。

Kingswood は私の住んでいる町から車で一時間位行ったところにあるブリストル郊外の町です。例会は町の集会所を使って行われていました。以前は町の中に YMCA がありそこでやっていたのですが経営難？から周囲の町に移転し給食設備がなくなってしまったのでここに移ったということでした。というのはこの日の例会は Dinner 例会で月に一度はこの例会があるそうです。

集会所のホールには食事のテーブルが用意されており三々五々集まった人たち 27 名がそろった定刻 7 時 45 分に始まりました。飯が出るとなると定刻にくる？会長が休暇中との事で副会長が進行、開会宣言、きわめて簡単な食膳の感謝（余り簡単なので私にはアーメンというところで、ああこれはお祈りだったのだと思ったくらいでした）、ゲストの紹介、この日は新入会員が一人あり。あつという間もなく終わったかと思うと食事が始まりました。

食事はサラダから始まり、ローストポーク、デザートはホットプディング、コーヒーまで出るフルコースです。勿論飲み物はワインやジュースも用意されておりパンも出て味を含めてきわめて満足できるもので、値段は 7.5 ポンド（日本円で 1500 円弱、今は円高なので弱、弱、弱位？）これを聞いてびっくり。おまけに今日はゲストなのでただと言うことで大いに内容を褒めちぎっておきました。

これはメンバーの一人がケータリング会社を経営しており彼が集会所のキッチンでバイト？の人を指揮してやっているからできるのだとい

うことです。

食事後はメンバーの一人の郷土史研究家がこの集会所のあるあたりの町の歴史を古い写真をスライドで映しながら解説、みんな自分たちの住んでいる町なので、アアソーだったのか！とか、何かと楽しい雰囲気卓話でした。このクラブの人はほとんど定年退職後の悠悠自適の生活をしている人たちのようで一期は感慨が深かったように思われます。

初めて参加した例会で何から何まで新しい体験でしたがやはりワイズということでは共通する何かを感じることができました。終わってみると 11 時、またの例会への参加を約しほのぼのとした思いで帰路に尽きました。

（続報でクラブの様子、活動の内容などお届けします。）

ブリテン担当から

メンバーのみなさんからの原稿を楽しみに待っている時、誌面はどう構成しようかなどと構想を練って、よし今月はこれでいこうと思いつつ、寄せられた原稿をワード入力してみると、3 ページがあつと言うまに埋まってしまう。字の大きさを 9 ポイントに落とせばもっと掲載できるが何せ新聞さえ読みづらくなった今日この頃 10.5 ポイントで続けます。ということで、今月予定していました「中部部会ダイジェスト 2」は紙面の都合で持ち越しとしました。期待されていた方は楽しみの持ち越しということでお許し願いたい。（これは 110.5 ポイントです）

馬場寅太郎君住所変更案内

(新) 501-6003

岐阜県羽島郡岐南町平島 8 丁目 94 番地
グランツ杉山 II 3-C

電話&FAX 058-240-6587

